

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	シュタイナーハウス・モモ		
○保護者評価実施期間	令和 7年 3月 10日		～ 令和 7年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和 7年 3月 10日		～ 令和 7年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 4月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の療育理念は、教育学が専門の理事長(衛藤吉則: 広島大学教授)が定め、実践指導に直接当たっている。	理事長の専門であるシュタイナー教育に基づく芸術療法(水彩画や陶芸など)や自然農業体験に取り組んでいる。	
2	対象児が通所を楽しみにし、毎回楽しく通所してくること。	こども一人ひとりの興味・関心に寄り添い、それを満たす多様な教材を用意していること。	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域にある児童センターや認定こども園、幼稚園、保育園などとの交流が持ていないこと。	事業運営が多忙なため、他の機関に連絡したり、日程を調整したりする時間が持てない。	
2			
3			